

お子さんが、健やかに成長してゆくことは、みんなの願いです。

あかちゃんのみこえの問題は、多くは「音の方をむかない」「呼びかけても笑わない」「叩んでもふりむかない」など、おかあさんをはじめ、まわりの人が気づくことで発見され、一部は健診で発見されています。

もし、きこえに問題があって、そのまま気づかれないと、お子さんの成長に影響がでてきますので、できるだけはやく発見して、きこえの程度に応じて、聴いたり話したりするための治療（聴覚学習）を開始することが大切です。

この時期のみこえの問題は、まわりの人が注意深く観察することが大切です。また、乳児健診は積極的に受診しましょう。

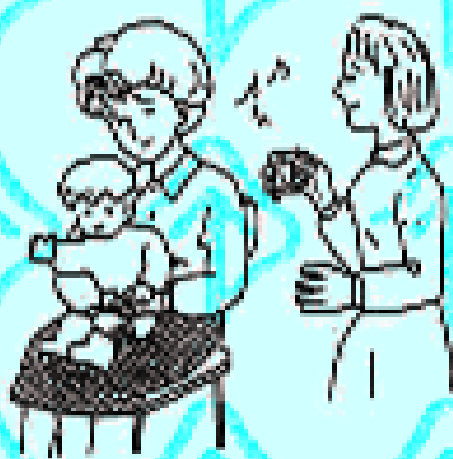
### あかちゃん（乳児期）のみこえと発達（おもなもの）

#### ① 0～2か月

- ・「突然の音にビクッとする」 など、大きな音によって反応がおこることがある。（大きくなるにつれて、次第に反応がおこらなくなります）

#### ② 3～6か月

- ・テレビの音に顔を向けるなど、日常の音に興味を示す（4か月頃から）。
- ・お母さんの声にふりむく（4か月頃から）
- ・突然の大きな音にびっくりして泣き出す（5か月頃）など



#### ③ 7か月～1歳

- ・外のいろいろな音に関心を示す（7～8か月頃から）
- ・歌や音楽にあわせてからだを動かして喜ぶ（9～11か月頃から）
- ・「オイデ」「バイバイ」など、人のことばに応じて行動する（9か月頃から） など

#### ④ 1歳～1歳6か月

- ・意味のあることばが出る（10か月～15か月ごろ）。
- ・目、耳、口などの身体の部位をたずねると指さす。
- ・「新聞とってきて」など、簡単な言葉による言いつけに応じて行動する など